

## 令和4年度 第4回 中川小学校運営協議会 会議録 (要点記録)

- 1 開催日時 令和5年2月8日(水)14時45分から15時45分まで
- 2 開催場所 中川小学校 南校舎 3階 多目的室
- 3 出席委員 田開 光治、大谷 寿浩、内山 有香、山岡 照彦、石原 邦一郎、  
巨島 善道、内藤 亜喜子、谷川 美帆、井上 真史、高柳 弘行
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校 中村 竜久(校長)、吉川 麻利子(教頭)、石原 勝行(教務)  
堀井 恵理(CSディレクター)
- 6 教育委員会 小川 誠司(教育委員会指導主事)
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項  
(1) 熟議「学校関係者評価」について  
(2) 熟議「令和5年度学校経営の基本方針」について  
(3) 熟議「学校運営協議会の自己評価」について
- 9 会議録作成者 CSディレクター 堀井 恵理
- 10 会議記録

司会の吉川教頭から、委員総数10人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

### (1) 熟議「学校関係者評価」について

議長の指示により、石原教務から、スライドを用いて、本年度の取り組みの紹介と、後期の学校評価の説明があり、委員からは以下の発言があった。

- にこにこの日について  
児童・先生へのあいさつはよくできていると思うが、地域の中ではまだまだだと感じている。先生たちに登下校の様子を見回ってもらいたい。(山岡委員)
- ボランティアの募集について  
次年度のボランティアの募集は早めにできたらいいのでは。(山岡委員)  
→地域にもCSだよりを発行し、1年を通して知らせている。今後は、「中川小の応援団」という形で、いつでもボランティアの募集をしていることが分かるよう、目につく場所にチラシを掲示していく予定。みなさんに中川小へ足を運んでもらえるよう、引き続き声かけや広報活動を頑張っていきたい。  
(谷川コーディネーター)

- 安全について

中川の地域において、水害は身近にある。幼・小合同の防災訓練で、水の災害を意識して訓練を行うことはとても大切。防犯教室や、ヘルメットの正しい着用の仕方の指導・交通ルールの指導も続けて欲しい。(山岡委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2)「令和5年度学校経営の基本方針」について

議長の指示により、中村校長から、別紙資料に基づき、令和5年度学校経営の基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ICT・オンライン授業について

学校行事に来られなかった家族や地域に対して、ライブ配信などあれば嬉しい。  
(大谷委員)

→ホームページやたよりに顔をのせたくない児童・保護者も多い。(石原教務)

→可能性は考えていきたいが、規約・個人情報の問題もあり難しい。(中村校長)

- 個別最適な学びとはどんなものか。(内藤委員)

→個別学習・タブレット等を、個人の能力に応じてやっていきたい。朝の時間に学ぶ時間を設けるなど、授業以外にも時間をとってあげたら。(中村校長)

- タブレットを家に持ち帰るのは可能か。欠席や学級閉鎖などに活用できるのでは。

(内藤委員)

→浜松市としては、持ち帰りで活用できるように準備しているが、まだすぐに有効活用できる段階ではない。(石原教務)

- 今年度すばらしい結果がでていることを実感している。令和5年度の方針は前向きな課題が多いが、教育現場も心配。今年度を土台にして少しずつ取り組んでいって欲しい。

(石原委員)

→職員の負担が大きくなるよう1つ1つ確かめながら進めていく予定。

教職員は理解してくれているので、学校は前向きに取り組んでいきたい。(中村校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3)「学校運営協議会の自己評価」について

議長の指示により、教育委員会小川指導主事から、学校運営協議会の自己評価について説明があり、委員からは以下の発言があった。

評価項目1 学校経営の基本方針について熟議することができたか

- 1回目の協議会では各委員が質問できていた。2・3回目の話し合いにおいては、実際

に子育て中の委員から積極的に意見が出て、いい話し合いになったと思う。(田開委員)  
評価項目2 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか

- ボランティア活動の全体像を委員同士で共有し、話す時間があれば、もっとお手伝いできたと思う。ボランティアの募集を、平日午前中以外も募集するなど、時間帯や内容を再検討してみてはどうか。(内山委員)
- 登下校の見守りを、犬の散歩のついでなど気軽にできる見守りボランティアはどうか。(大谷委員)  
→以前、先生方にボランティアの内容についてアンケートをとったが、登下校の見守りボランティア希望はあがっていた。地域の人からも、「110番の家」や散歩のついでに町内で見守る等、防犯についての意見をいただいている。他にも、本の読み聞かせや、クラブ活動の支援など、地域の方々に中川小へ足を運んでいただけるよう、引き続き、発信・声かけをしていく。(谷川コーディネーター)
- 「中川」という地域はこれからもずっと中川小と共にある。今後もずっと継続できるような活動ができるといい。(大谷委員)

評価項目3 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 年間4回の開催では、委員同士のコミュニケーションをとるのに、話す時間・回数が足りないように思った。来年度は、会の中で委員同士が話す時間を増やして欲しい。(内山委員)  
→年間開催数においては特に決まりはなく、5回の学校もある。(小川指導主事)
- 今年度は協議がうまく機能していると感じた。回数・時間に関してはもう少し増えたらいいと思うが、先生方の負担がないように増やしていただければ。(巨島委員)
- 協議会の年間開催数が増えると、PTA役員を引き受けてくれる方の負担となる可能性も。(内藤委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

議長の指示により、吉川教頭から、別紙資料に基づき、「夢育やらまいか事業のCS加算分の運用」についての報告があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

中村校長より、本年度のお礼と、来年度に向けての挨拶があり、15時45分頃協議会終了。

以上、この会議録が正確であることを証します。

令和5年2月8日

